

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年7月8日

【四半期会計期間】 第50期第3四半期(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

【会社名】 株式会社タイヨー

【英訳名】 TAIYO CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 清川和彦

【本店の所在の場所】 鹿児島県鹿児島市南栄三丁目14番地

【電話番号】 (099)268 - 1211 (代表)

【事務連絡者氏名】 財務部長 村田 浩

【最寄りの連絡場所】 鹿児島県鹿児島市南栄三丁目14番地

【電話番号】 (099)268 - 1211 (代表)

【事務連絡者氏名】 財務部長 村田 浩

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)
証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は棚卸資産計上額の基礎となるデータの収集及び処理上の手続きに誤りがあった可能性があることが判明したため、速やかに過去のその内容及び根拠となるデータの状況等について徹底した調査を進めてまいりましたが、調査の結果、平成25年2月期第3四半期において棚卸資産計上額が過大に計上されていることが確認されました。

これを受けて、当社は平成25年1月11日に提出した第50期第3四半期(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)に係る四半期報告書の記載事項の一部を訂正する必要性が生じたため、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表に係る訂正箇所については、XBRLの訂正も行いましたので、併せて訂正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイル含む)を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1)四半期連結貸借対照表

(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

注記事項

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次		第49期 第3四半期 連結累計期間	第50期 第3四半期 連結累計期間	第49期
会計期間		自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日	自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日
営業収益 (売上高及び営業収入)	(百万円)	96,923	95,456	130,863
経常利益	(百万円)	1,757	<u>1,300</u>	2,855
四半期(当期)純利益	(百万円)	703	<u>654</u>	899
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	666	<u>622</u>	906
純資産額	(百万円)	47,794	<u>48,017</u>	48,035
総資産額	(百万円)	96,011	<u>96,606</u>	94,861
1株当たり四半期(当期) 純利益	(円)	34.88	<u>32.48</u>	44.64
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	49.7	<u>49.7</u>	50.6

回次		第49期 第3四半期 連結会計期間	第50期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日	自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	16.19	<u>12.06</u>

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 営業収益(売上高及び営業収入)には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

4. 第49期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

(訂正後)

回次	第49期 第3四半期 連結累計期間	第50期 第3四半期 連結累計期間	第49期
会計期間	自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日	自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日
営業収益 (売上高及び営業収入) (百万円)	96,923	95,456	130,863
経常利益 (百万円)	1,757	<u>1,256</u>	2,855
四半期(当期)純利益 (百万円)	703	<u>610</u>	899
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	666	<u>578</u>	906
純資産額 (百万円)	47,794	<u>47,973</u>	48,035
総資産額 (百万円)	96,011	<u>96,562</u>	94,861
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	34.88	<u>30.30</u>	44.64
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	49.7	<u>49.7</u>	50.6

回次	第49期 第3四半期 連結会計期間	第50期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日	自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	16.19	<u>9.87</u>

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収益(売上高及び営業収入)には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。
4. 第49期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)経営成績の分析

(訂正前)

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、昨年の東日本大震災後の需要増の反動や、夏場の天候不良などが影響し、営業収益（売上高及び営業収入）が95,456百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益が1,330百万円（前年同期比25.8%減）、経常利益が1,300百万円（前年同期比26.0%減）、四半期純利益が654百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

(訂正後)

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、昨年の東日本大震災後の需要増の反動や、夏場の天候不良などが影響し、営業収益（売上高及び営業収入）が95,456百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益が1,286百万円（前年同期比28.3%減）、経常利益が1,256百万円（前年同期比28.5%減）、四半期純利益が610百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

(2)財政状態の分析

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は96,606百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,745百万円増加いたしました。これは、主に商品及び製品が1,318百万円、建物及び構築物（純額）が401百万円増加したことによるものであります。

負債は48,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,762百万円増加いたしました。これは、主に長期借入金が2,057百万円減少したものの、短期借入金が1,536百万円、買掛金が1,249百万円、賞与引当金が456百万円増加したことによるものであります。

純資産は48,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が412百万円増加したものの、自己株式が397百万円増加、その他有価証券評価差額金が32百万円減少したことによるものであります。

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は96,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,701百万円増加いたしました。これは、主に商品及び製品が1,274百万円、建物及び構築物（純額）が401百万円増加したことによるものであります。

負債は48,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,762百万円増加いたしました。これは、主に長期借入金が2,057百万円減少したものの、短期借入金が1,536百万円、買掛金が1,249百万円、賞与引当金が456百万円増加したことによるものであります。

純資産は47,973百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が368百万円増加したものの、自己株式が397百万円増加、その他有価証券評価差額金が32百万円減少したことによるものであります。

第4 【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年9月1日から平成24年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年9月1日から平成24年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】
(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,998	6,500
売掛金	56	109
商品及び製品	6,347	7,666
仕掛品	1	2
原材料及び貯蔵品	120	136
その他	2,118	2,284
流動資産合計	15,643	16,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,017	18,418
土地	53,070	53,188
その他(純額)	3,863	3,919
有形固定資産合計	74,951	75,526
無形固定資産		
その他	228	357
無形固定資産合計	228	357
投資その他の資産		
投資有価証券	1,174	1,114
その他	3,087	3,132
貸倒引当金	223	223
投資その他の資産合計	4,037	4,023
固定資産合計	79,218	79,907
資産合計	94,861	96,606
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,586	7,835
短期借入金	10,790	12,326
1年内返済予定の長期借入金	3,513	2,799
未払法人税等	642	454
賞与引当金	864	1,321
その他	4,030	5,455
流動負債合計	26,427	30,193
固定負債		
社債	30	30
長期借入金	14,143	12,085
退職給付引当金	1,367	1,388
役員退職慰労引当金	241	205
店舗閉鎖損失引当金	-	24
資産除去債務	291	301
その他	4,325	4,359
固定負債合計	20,399	18,396
負債合計	46,826	48,589

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,505	8,505
資本剰余金	7,964	7,964
利益剰余金	38,665	<u>39,078</u>
自己株式	7,179	7,576
株主資本合計	<u>47,956</u>	<u>47,971</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	46
その他の包括利益累計額合計	<u>78</u>	<u>46</u>
純資産合計	<u>48,035</u>	<u>48,017</u>
負債純資産合計	<u>94,861</u>	<u>96,606</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,998	6,500
売掛金	56	109
商品及び製品	6,347	<u>7,622</u>
仕掛品	1	2
原材料及び貯蔵品	120	136
その他	2,118	2,284
流動資産合計	<u>15,643</u>	<u>16,655</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,017	18,418
土地	53,070	53,188
その他(純額)	3,863	3,919
有形固定資産合計	<u>74,951</u>	<u>75,526</u>
無形固定資産		
その他	228	357
無形固定資産合計	<u>228</u>	<u>357</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	1,174	1,114
その他	3,087	3,132
貸倒引当金	223	223
投資その他の資産合計	<u>4,037</u>	<u>4,023</u>
固定資産合計	<u>79,218</u>	<u>79,907</u>
資産合計	<u>94,861</u>	<u>96,562</u>
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,586	7,835
短期借入金	10,790	12,326
1年内返済予定の長期借入金	3,513	2,799
未払法人税等	642	454
賞与引当金	864	1,321
その他	4,030	5,455
流動負債合計	<u>26,427</u>	<u>30,193</u>
固定負債		
社債	30	30
長期借入金	14,143	12,085
退職給付引当金	1,367	1,388
役員退職慰労引当金	241	205
店舗閉鎖損失引当金	-	24
資産除去債務	291	301
その他	4,325	4,359
固定負債合計	<u>20,399</u>	<u>18,396</u>
負債合計	<u>46,826</u>	<u>48,589</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,505	8,505
資本剰余金	7,964	7,964
利益剰余金	38,665	<u>39,034</u>
自己株式	7,179	7,576
株主資本合計	<u>47,956</u>	<u>47,927</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	46
その他の包括利益累計額合計	<u>78</u>	<u>46</u>
純資産合計	<u>48,035</u>	<u>47,973</u>
負債純資産合計	<u>94,861</u>	<u>96,562</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	95,774	94,277
売上原価	75,461	74,162
売上総利益	20,313	20,114
営業収入	1,149	1,179
営業総利益	21,462	21,294
販売費及び一般管理費	19,669	19,964
営業利益	1,793	1,330
営業外収益		
受取利息	16	15
その他	154	161
営業外収益合計	171	177
営業外費用		
支払利息	170	159
その他	36	47
営業外費用合計	207	207
経常利益	1,757	1,300
特別利益		
固定資産売却益	1	2
事業譲渡益	24	-
その他	1	-
特別利益合計	27	2
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	19	11
投資有価証券評価損	99	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	214	-
貸倒引当金繰入額	70	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	24
減損損失	-	44
特別損失合計	406	80
税金等調整前四半期純利益	1,378	1,222
法人税、住民税及び事業税	938	794
法人税等調整額	262	226
法人税等合計	675	567
少数株主損益調整前四半期純利益	703	654
四半期純利益	703	654

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	95,774	94,277
売上原価	75,461	74,206
売上総利益	20,313	20,070
営業収入	1,149	1,179
営業総利益	21,462	21,250
販売費及び一般管理費	19,669	19,964
営業利益	1,793	1,286
営業外収益		
受取利息	16	15
その他	154	161
営業外収益合計	171	177
営業外費用		
支払利息	170	159
その他	36	47
営業外費用合計	207	207
経常利益	1,757	1,256
特別利益		
固定資産売却益	1	2
事業譲渡益	24	-
その他	1	-
特別利益合計	27	2
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	19	11
投資有価証券評価損	99	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	214	-
貸倒引当金繰入額	70	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	24
減損損失	-	44
特別損失合計	406	80
税金等調整前四半期純利益	1,378	1,178
法人税、住民税及び事業税	938	794
法人税等調整額	262	226
法人税等合計	675	567
少数株主損益調整前四半期純利益	703	610
四半期純利益	703	610

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】
(訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	703	654
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	32
その他の包括利益合計	36	32
四半期包括利益	666	622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	666	622
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	703	610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	32
その他の包括利益合計	36	32
四半期包括利益	666	578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	666	578
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(1株当たり情報)

(訂正前)

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
1株当たり四半期純利益	34円88銭	32円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	703	654
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	703	654
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,152	20,145

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
1株当たり四半期純利益	34円88銭	30円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	703	610
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	703	610
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,152	20,145

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月8日

株式会社タイヨー
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和 泉 年 昭 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千 々 松 英 樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社タイヨーの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年11月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社タイヨー及び連結子会社の平成24年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成25年1月10日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。